

2001年9月の情報です。

平成12年度水質汚濁の状況について

2 水域ごとの測定結果

(1) 河川

- 水域類型が定められている32水域(27河川)のうち、BODの環境基準を達成しているのは、29水域(91%)であり、前年度より2水域増加している。(表3)
- 測定地点ごとの適合状況では、84地点(27河川)のうち71地点(85%)がBODの環境基準に適合しており、前年度より5地点増加している。(表4)

表3 BODの環境基準達成水域数の推移

| 年 度 | 7年度 | 8年度 | 9年度 | 10年度 | 11年度 | 12年度 |
|-------|-----|-----|-----|------|------|------|
| 水域数 | 32 | 32 | 32 | 32 | 32 | 32 |
| 達成水域数 | 21 | 20 | 25 | 25 | 27 | 29 |
| 達成率 | 66% | 63% | 78% | 78% | 84% | 91% |

表4 BODの環境基準適合地点数の推移

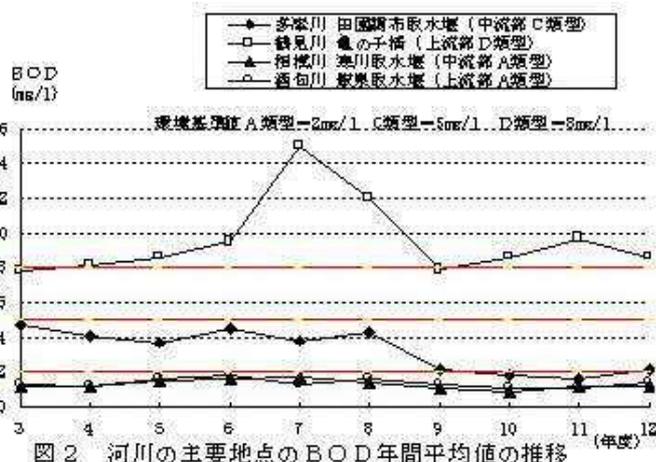
| 年 度 | 7年度 | 8年度 | 9年度 | 10年度 | 11年度 | 12年度 |
|-------|-----|-----|-----|------|------|------|
| 測定地点数 | 84 | 84 | 84 | 84 | 84 | 84 |
| 適合地点数 | 46 | 48 | 57 | 59 | 66 | 71 |
| 適合率 | 55% | 57% | 68% | 70% | 79% | 85% |

ア 県内の主要河川

- 多摩川は、中流部(C類型)、下流部(D類型)においてBODの環境基準を達成している。鶴見川は、上流部(D類型)においてBODの環境基準を達成していない。水道水源となっている相模川(中流部A類型)、酒匂川(上流部A類型)は、いずれもBODの環境基準を達成している。(表5)
- 多摩川、鶴見川、相模川及び酒匂川の主要地点のBODの年間平均値をみると、多摩川及び酒匂川で前年度よりやや高く、鶴見川では前年より低く、相模川では同様である。(図2)

表5 主要河川のBODの環境基準達成状況

| 水域名 | 7年度 | 8年度 | 9年度 | 10年度 | 11年度 | 12年度 |
|-------|-----|-----|-----|------|------|------|
| 多摩川中流 | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 多摩川下流 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 鶴見川上流 | × | × | × | × | × | × |
| 鶴見川下流 | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 相模川中流 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 相模川下流 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 酒匂川上流 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 酒匂川下流 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |



イ その他の主な河川

- 。 帷子川、入江川などの県東部の河川では、下水道の整備等により水質の改善が進み、すべての河川でBODの環境基準を達成している。
金目川、葛川、中村川では、BODの環境基準を達成していなかったが12年度は葛川を除きBODの環境基準を達成した。 早川、山王川などの県西部のほとんどの河川は、BODの環境基準を達成している。